

やまなし森林・林業振興ビジョンの進捗状況について

県土面積の8割近くを占める本県の森林は、県民の生活に密接に関連した貴重な資源であり、将来にわたり良好な状態に保ち、多方面にわたり有効に活用していく必要があるため、平成27年12月に「やまなし森林・林業振興ビジョン」を策定し、「材」「エネルギー」「場」の3つのキーワードごとに基本方針、施策の展開を明確にし、ビジョンが目指す将来像の実現に向けて具体的な施策を展開しているところです。

こうしたビジョンの実効性を確保するため、基本方針ごとにそれぞれ数値目標（合計10項目）を掲げ、毎年度、目標実現に向けた施策の進捗状況や効果等について点検、評価を行うこととしています。

平成28年度末時点における進捗状況は、次のとおりです。（目標年次：平成36年度）

○ 目標の進捗状況

各項目の進捗状況を関連キーワードごとに集計した結果は、下表のとおりです。

関連キーワード	数値目標（H36）	H36 目標に対する進捗	H28 年平均値に対する状況	
材	1 森林整備の実施面積（年間）	6,000ha	22%	109%
	2 木材生産量（年間）	335 千 m ³	30%	96%
	3 林内路網の整備延長（累計）	4,766km	29%	101%
	4 林業への新規就業者数（年間）	54 人	85%	85%
エネルギー	5 木質バイオマス利用施設数（累計）	33 施設	80%	124%
	6 木質バイオマスのエネルギー利用量（年間）	84 千 m ³	6%	71%
	7 ペレットストーブ導入台数（累計）	1,000 台	57%	132%
場	8 自然を目的として本県を訪れる観光客数（年間）	5,788 千人	124%	129%
	9 特用林産物生産への新たな取り組み件数（累計）	20 件	22%	100%
	10 山地災害危険地区の新規整備着手箇所数（年間）	15 箇所	100%	100%

このうち、「森林整備の実施面積」や「林内路網の整備延長」、「木質バイオマス利用施設数」など、概ね計画どおり実施することができた項目、また、一方、「木質バイオマスのエネルギー利用量」の平年よりも気温が高かった影響などから、一部の施設において稼働状況が低調であったため、低めの実績となった項目がある中、目標の10項目のうち、年平均値に対して7項目が100%を上回るなど、全体として一定の成果があったものと考えます。

【やまなし森林・林業振興ビジョン】進捗状況について（平成28年度末 ビジョン2年目）

関連キーワード	目標項目	基準値 (H26) ①	目標値 (H36) ②	前年度 (H27)の実績 又は累計値 ③	H28年度		H28年度進捗状況				進捗状況や効果等に係るコメント	今後の対応	担当課
					実績値 a	累計実績値 又は増加分 b	H36 目標値-基準値 (②-①) c	H26 基準値 ①	年平均値 (※1) d	H36目標に対する進捗 (b/c)			
材	1 森林整備の実施面積	4,685ha/年	6,000ha/年	6,966ha	6,523ha	13,489ha	60,000ha (※)	6,000ha/年	22%	109%	県内全域において、木材生産機能や水源かん養機能等、森林の多面的機能を維持・増進するための森林整備を概ね計画どおり実施することができた。 ※Cについては、年間6,000ha×10年（H36まで）の累計値60,000haで進捗状況を把握。	森林環境税事業の第2期計画の着実な実施や、森林整備に必要な予算の確保に向けた国に対する要望活動などを行いながら、引き続き、関係者と連携のもと、木材生産機能や水源かん養機能等、森林の持つ多面的機能の維持・増進を図るための森林整備を推進していく。	森林整備課
	2 木材生産量	156千m3/年	335千m3/年	202千m3/年	209千m3/年	(a-①)増加分 53千m3/年	179千m3/年	218千m3/年	30%	96%	前年度(H27)と比べ、製材・合板用などの生産量が増加したものの、当年度(H28)における年平均値の96%にとどまった。	施業集約化や林内路網の整備、高性能林業機械の導入を促進するとともに、公共施設等の木造・木質化や民間事業者等への木質バイオマス利用を働きかける。	林業振興課
	3 林内路網の整備延長（累計）	4,483km	4,766km	4,524km (上段-①)増加分 41km	40km	4,564km (上段-①)増加分 81km	283km	4,540km	29%	101% ※(b/d)	年平均値を上回る整備を行っており、効率的な森林施業や木材搬出コストの低減などの効果が見込める。	林業の成長産業化に向け、効率的な森林施業を可能とする林内路網整備を計画的に進める。	治山林道課
	4 林業への新規就業者数	54人/年	54人/年	45人/年	46人/年	—	54人/年 (※)	54人/年	85%	85% ※(a/c)	山梨県林業労働センターと協働して、就業希望者に対する求人情報の提供、林業事業者との面接会や技術講習会等を実施し、多数の参加があったものの、就労条件等が折り合わず、雇用には至らなかった事例などが見受けられた。 ※毎年同一の目標値としていることから、bについては—とし、cについては目標値と同じ数値で進捗状況を把握。	林業労働センター等関係機関と連携して、就労改善の指導や、面接会、技術講習会等を行うなど、労働力確保のための事業を積極的に行うことにより、更なる就業促進を図る。	林業振興課
エネルギー	5 木質バイオマス利用施設数（累計）	23施設	33施設	26施設 (上段-①)増加分 3施設	5施設	31施設 (上段-①)増加分 8施設	10施設	25施設	80%	124% ※(b/d)	木質バイオマス利用施設の整備や供給体制の強化に向けた指導・助言を行った結果、年平均値（1施設）を上回る5施設が整備された。	木質バイオマス利用施設の整備が順調に進むよう、引き続き支援していく。	林業振興課
	6 木質バイオマスのエネルギー利用量	18千m3/年	84千m3/年	21千m3/年	22千m3/年	(a-①)増加分 4千m3/年	66千m3/年	31千m3/年	6%	71%	木質バイオマス利用施設の整備やペレットストーブの導入に伴い増加傾向にあるものの、平年よりも気温が高かった影響などから、一部の施設において稼働状況が低調であったため、当年度(H28)における年平均値に達しなかった。	木質バイオマス利用施設の整備を支援するとともに、木質バイオマスの安定供給体制を確立し、木質バイオマスのエネルギー利用量の拡大を図る。	林業振興課
	7 ペレットストーブ導入台数（累計）	488台	1,000台	633台 (上段-①)増加分 145台	147台	780台 (上段-①)増加分 292台	512台	590台	57%	132% ※(b/d)	ペレットストーブを導入した公共施設や個人、民間事業所が増えた結果、年平均値を大きく上回る実行値となった。	ペレットストーブ等の利用施設導入が順調に進むよう、引き続き、普及啓発に努めていく。	林業振興課
場	8 自然を目的として本県を訪れる観光客数	5,425千人/年	5,788千人/年	6,402千人/年	7,204千人/年	—	5,788千人/年 (※)	5,570千人/年	124%	129% ※(a/c)	県内外からの森林スポットへの問い合わせや、企業からの照会、利用要望があるなど、森林の保健休養利用への関心の高まりが見られ、自然を目的とした観光客の増加につながった。 ※毎年同一の目標値としていることから、bについては—とし、cについては目標値と同じ数値で進捗状況を把握。	ホームページによる情報発信を強化するとともに、企業・団体への個別説明などにより、森林の保健休養利用の機会拡大を促し、県内森林公園利用者の増加等を図る。	県有林課
	9 特産林産物生産への新たな取り組み件数（累計）	2件	20件	4件 (上段-①)増加分 2件	2件	6件 (上段-①)増加分 4件	18件	6件	22%	100% ※(b/d)	新たな品種の栽培方法等の研修会や指導を行った結果、新規参入件数1件、新たな品種の取組件数1件、計2件の取組みにつながった。	特産林産物の生産者や新規参入希望者を対象に新たな品種や栽培方法についての研修や指導を行うことにより、新規参入件数や新たな品種への取組件数の増加を図る。	林業振興課
	10 山地災害危険地区の新規整備着手箇所数	15箇所/年	15箇所/年	16箇所/年	15箇所/年	—	15箇所/年 (※)	15箇所/年	100%	100% ※(a/c)	目標どおりのペースで山地災害危険地区において治山事業に着手しており、山地災害の事前防災と減災対策の着実な推進を図っている。 ※毎年同一の目標値としていることから、bについては—とし、cについては目標値と同じ数値で進捗状況を把握。	計画的に治山事業を実施し、地域の安全・安心の確保を図る「緑の県土強化」に取り組んでいく。	治山林道課

※1 H36目標に向けて、計画期間を年でならした平均値。

毎年、一定値とする平均値【項目1、4、10】と、年々増加する平均値に基準値を加えた【項目3、5、6、7、9】(0欄/10年×2年目+①欄)、【項目2】(31千m3×2年目+①欄)、【項目8】((②-①)/5年×2年目+①欄)とに区分。